



日本平

平沢地区・遊木の森

日本平、有度丘陵の麓の平沢地区は、静岡市内でも数少ない里山の雰囲気が残る場所です。吉田川に沿って、畑や田んぼ、雑木林が連なり、自然環境を楽しめる場所も色々整備されています。

しずおか里山体験学習施設「遊木(ゆうぎ)の森」は、県が管理する里山で、森林環境教育の拠点として、自然体験プログラムなどのイベントも開催されています。

しょくぶつ 樹木

- キブシ**

落葉低木で、山地の林縁部等、明るい環境に生えています。3~4月に房状の淡黄色い花を咲かせます。
- ガマズミ**

丘陵地、山地等生える落葉低木です。5~6月に多数の小さな白色の花を咲かせ、果実は9~11月に赤く熟れます。
- ホオノキ**

北海道~九州に分布するモクレンの仲間の落葉高木で、日本の広葉樹では最も大きな葉をつけます。5~6月にクリーム色の大きな花を咲かせます。
- カマツカ**

バラの仲間の落葉低木です。4~6月に白色の花を咲かせ、果実は10~11月に赤く熟れます。
- モクレン**

中国南部原産の落葉低木で、観賞用に世界各地で植栽されています。4月頃に、葉が展開するとともに紫紅色の花が上向きに咲きます。
- サンゴジュ**

常緑の高木で、夏から秋に赤い果実がなります。この果実と柄が海のサンゴに似ていることから名がつけられました。
- クサギ**

落葉小高木で、葉に臭いにおいがあることから名がつけられました。その実は草木染に使われます。
- クヌギ**

ブナの仲間の落葉樹です。その樹液には、カブトムシをはじめとする昆虫がたくさん集まります。

しょくぶつ 春の花

- ショウジョウバカマ**

山地の湿った谷沿いの斜面や森林に生える多年草で、4~5月に淡紅色~濃紅紫色の花を咲かせます。
- タシロラン**

葉がなく、光合成を行わず、菌類から栄養を得て生活している植物です。全体が乳白色で、初夏に開花します。
- タチツボスミレ**

スミレの仲間です。3~5月に薄い紫花を咲かせます。耕作地周りから野原、山にかけて生えています。
- エンシュウムヨウラン**

葉がなく、光合成を行わず、菌類から栄養を得て生活している植物です。県西部で発見されたこと由来です。
- フモトスミレ**

花は白色で、直径約1cm。唇弁に紫色~赤紫色の筋が入るスミレです。宮城県以南の本州、四国、九州に生育しています。
- ユキノシタ**

6月に白い小さな花をたくさん咲かせます。湿り気多い半日陰の場所に生育します。葉は古くから薬に使用されます。
- ヒメウツギ**

アジサイの仲間です。秋に葉を落とす小さな木です。4~5月に白色の花を咲かせ、卵の花とも呼ばれます。
- アリドオン**

落葉低木で、とげが細長くアリ類も刺し貫くといふ語源と、とげが多数ありアリ類のような小さい虫ではないと通り抜けられないといふ語源とがあります。

しょくぶつ 夏・秋の花

- フジバカマ**

キクの仲間の多年草で、「秋の七草」のひとつです。関東以西の本州、四国、九州に分布します。晩夏からフジの花のような薄紫色の花を咲かせます。
- ヤマハギ**

マメ科の植物で、「秋の七草」のひとつです。北海道から九州までの日本各地の山野に生える落葉低木です。
- ホトトギス**

ユリの仲間の多年草で、7~10月に開花します。花弁の斑点が鳥類のホトトギスの胸の模様に見えることから、名付けられたそうです。
- ヤブミョウガ**

ツククサの仲間の多年草で、関東以西の林地内に生育し、8~9月に白色の花を咲かせます。ミョウガの葉と似ているが、ミョウガとは別の仲間です。
- ホッソモ**

一年草の沈水植物で、形態が仏具の仏子(ほっす)に似ていること由来しています。
- ダイコンソウ**

バラ科の植物で、多年草です。北海道から九州までの日本各地の山野の道ばたなどに生え、夏に黄色い花を咲かせます。
- シラヤマギク**

キクの仲間です。山地の乾いた草地や道端に生える多年草です。8~10月に白色の花を咲かせます。

むし トンボ

- ミヤマカワトンボ**

日本のカワトンボの仲間では最大で、体長は7~8cmほどになります。赤褐色のはねを持ち、腹部は青味がかった金属光沢のある体色です。山地の川にすんでいます。
- ショウジョウトンボ**

はねを広げると7cmくらいで、はねの付け根が、褐色をおび、オスは成熟すると全身が真っ赤になります。
- ネキトンボ**

はねを広げると7cmくらいのアカトンボで、はねの付け根が広く赤色です。水辺の植物が豊かな池のまわりにはいます。
- オオシオカラトンボ**

シオカラトンボよりも体が大きく、頭部黒色でオスは体に灰青色の粉を吹きます。オス・メスともにはねの付け根に黒い斑紋があります。
- マユタテアカネ**

はねを広げると6cmくらいのアカトンボ。夏には森の近くになると水辺に出てきます。顔面に盾のような斑紋があります。
- クロイトトンボ**

黒っぽいのはねを持つイトトンボの仲間です。オスのからだは緑色にかがやいています。平地や丘陵地の河川沿いにすんでいます。
- ハラビロトンボ**

はねをひろげると5cmくらい小さなトンボで、湿地によく見られます。オスは青白く、メスは黄と黒の斑紋があります。
- クロスジギンヤンマ**

はねを広げると10cmくらい大きなトンボです。オスは腹部にあざやかな青い斑紋があります。5~8月頃によく見られます。

むし チョウ

- コジャノメ**

はねを広げると10cmくらいのやや大型のチョウで、川原や林周辺の開けたところで見られます。
- ジャコウアゲハ**

はねを広げると10cmくらいのやや大型のチョウで、川原や林周辺の開けたところで見られます。
- サトキマダラヒカゲ**

中型のチョウで、低い平地や里山の林にすんでいます。成虫は5~6月と7月下旬~8月にかけての2回発生します。
- カラスアゲハ**

4~9月まで3回ほど発生します。花の蜜を好みますが、夏は谷間の湿った道路で給水することもあります。
- アサギマダラ**

大型のチョウで、フワフワと飛び、春に南から北の山地へ、夏に北から南の低地へ2世代で移動します。
- オオミズアオ**

大型の青白色で、はねを広げると8~12cmくらいの方の仲間です。幼虫はモミジやバラ科の葉を食べます。
- ダイミョウセセリ**

前ばねの長さは1.5cmくらい、平野部の林縁でよく見られ、活発に飛び、はねを広げて止まります。
- キシタバ**

はねを広げると6.9~7.4cmくらいの方の仲間です。幼虫はマメ科の葉を食べます。全体的に茶褐色で、保護色となり樹と同化します。

むし その他

- カブトムシ**

体長3~5.3cmくらいの大きな甲虫の仲間です。オスには大きな角があります。成虫は樹液、幼虫は土中で腐葉土などを食べます。
- ショウリョウバッタ**

オスで5cm、メスで8cmくらいの大きなバッタです。オスはキチキチと音を立てて飛び、キチキチバッタとも呼ばれます。
- キボシカミキリ**

灰黒色の体に薄黄色の斑点があるカミキリムシの仲間です。幼虫はクワ、イチジクなどの生木を食べて育ちます。
- クマゼミ**

透明のはねで、背中側はつやのある黒色の大型のセミです。温暖な地域の平地~低山地や、公園、街路樹に見られます。

水辺のいきもの

- アブラハヤ**

体長12cmくらいのコイの仲間です。食性は雑食です。体の表面に縦縞が見られます。
- モクズガニ**

甲羅の大きさが5cmほどで、川にすむ大型のカニです。ハサミに濃い毛が生えるのが特徴です。
- ニホンアマガエル**

体長が2~5cmくらい小さなカエルです。水辺の草の上や樹木の上に住んでいます。
- サワガニ**

きれいな水場にすむ淡水性のカニです。地域によって赤褐色や淡青色や茶褐色など、体の色が異なります。

とり

- モズ**

留鳥。全長20cmくらいで、なわばりを持ち、「キィ、キィ、キリッ、キキ、キリリリ」と高い声で鳴きます。
- ジョウビタキ**

冬鳥。全長14cmほどの小鳥で、翼はオスが黒褐色、メスが茶色、ともに白い斑紋があります。本州では冬に見られません。
- ウグイス**

留鳥。よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャツチャツ」と鳴きます。ヤブの中において姿を見るのは難しいです。
- アオジ**

冬鳥。夏は高原などで繁殖し冬は低地に移動するホオジロの仲間です。オスは名前の通りくすんだ緑色をしています。
- エナガ**

留鳥。スズメより小さい鳥で、林や森などにすみ、「チーチー、チリリ、ジュリリ」と鳴きます。冬は群れて移動します。
- シロハラ**

冬鳥。スズメより大きな鳥です。冬に公園などで落ち葉をかきわけて、昆虫やミミズなどを採って食べます。
- カワラヒワ**

留鳥。全長15cmくらい小鳥で、黄褐色で、太い嘴と翼に黄色が混じっています。繁殖期以外は、群れて過ごすのでよく見られます。
- ハシブトガラス**

留鳥。くちばしの太いガラスで、「カアカア」と鳴きます。繁殖期以外は、群れて過ごすのでよく見られます。